



# やあ!

# ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:[tia@tia21.or.jp](mailto:tia@tia21.or.jp)



▲講師の岩本弥生氏(左上)・通訳のいる診察場面の寸劇(右上)、写真下段は言語に分かれての通訳実習

## 「医療通訳セミナー」

医療機関が適切な診療を提供し、外国人患者が安心して受診するために必要な「医療通訳」について学ぶセミナーを6月25日（土）とちぎ国際交流センターで開催し、通訳者や医療機関関係者を含む42名が参加しました。講師は、神奈川県を中心に医療通訳者の派遣を行っている特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ理事であり、ポルトガル語通訳者でもある岩本弥生氏。前半の講義では、医療通訳に必要なこととして、語学力や通訳のスキルはもちろんのこと、相手を配慮できるコミュニケーション能力、わからないことは正直に医師に伝えるなどプロの精神が併せて求められるなど心構えの話のほか、医療スタッフとのやりとりで配慮すべき点などの紹介がありました。後半は、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語にわかれて、実際の診察場面や災害時の救護所での場面を想定した医師と外国人患者のやりとりを通訳する実習を行いました。

2016年9月号

No.136

Autumn

とちぎに暮らして…  
TIA インフォメーション  
JICA 情報局

ロニー・ヴァルガス・ヴィジャロボス氏（コスタリカ）  
「宮っ子チャレンジ」がT I A で職場体験  
海の向こうの暮らしから（ウズベキスタン）

## 「外国人住民のための就労支援セミナー」

7月6日(水)～7月16日(土) 全6回

## 「外国人のための職場体験プログラム」

7月20日(水)～9月9日(金) 全10回

### ■外国人住民のための就労支援 セミナー■

栃木県内の外国人住民を対象に、就職に役立つ知識などを学ぶ「外国人住民のための就労支援セミナー」をとちぎ国際交流センターで開催しました。セミナーは2つの内容からなり、セミナー①は「就職活動の準備、面接時のマナー、ハローワークの利用方法等」、セミナー②は「日本の職場のマナーと会話」で、それぞれ3回実施しました。中国、ネパール、タイ、インド、インドネシア、メキシコ、ブラジル、カナダ、スウェーデンなどの国籍の方が計131名参加しました。

セミナー①では、講師の柴田寿美代氏(ランスタッド株式会社)が、応募書類の作成、面接時の身だしなみ、外国人がよく聞かれる質問への準備などを説明しました。参加者の中には、面接用の



▲ロールプレイであいさつを学ぶ参加者

スーツを着て参加する人もいて真剣さが伝わってきました。セミナー②では、TIA職員と日本語ボランティアが講師となり、職場でのあいさつや返事、遅刻や休

むときの電話連絡、上司との話し方などを、ロールプレイやグループワークを通して紹介しました。参加者からは時々笑い声も聞こえてきて、活気あるセミナーとなりました。

### ■職場体験プログラム■

就労支援セミナーの参加者等を対象に、職場体験プログラムを実施しました。仕事現場を実際に体験・見学することで、事業内容を知ってもらうことを目的としています。



▲レストランでホールの仕事を体験

体験先はレストラン、介護施設、製造工場、スーパーマーケット等5か所で、各2回実施。参加者は計34名でした。

レストランでは実際に使用している制服を着用して、ホールや調理の仕事を体験しました。介護施設、製造工場、スーパーマーケットでは職場内を案内してもらい、スタッフの方から業務内容について詳しく話を聞きました。

レストランのホールを体験した参加者は、「日本で働いたことがないので最初はドキドキしたが、あっと言う間に終わった」、「やればできる」と自信になった」と話していました。また、介護施設、製造工場、スーパーマーケットの見学者からは、「なかなか職場の中を見ることができないので良い経験だった」、「どういう仕事なのか分かった」、「働きたい!」といった声を聞くことができました。これらの体験を生かし、ぜひ自分に合った就職先を見つけてほしいですね。

## 「新規留学生のためのガイダンス」

5月30日(土) とちぎ国際交流センター

栃木県の高等専門学校及び大学などに入学したばかりの一年生を対象とした新規留学生のためのガイダンスと懇親パーティーを開催し、留学生や関係者を合わせて60名が参加しました。

午前中に行われたガイダンスでは、栃木県の概要、TIAや留学生推進協議会の事業を説明した後、日本の留学生活のアドバイスを行うパネルディスカッションを行いました。ここでは、県内の3つの大学の先輩留学生から日本語上達の方法、日本人との付き合い方などさまざまなアドバイスのほか、留学中はしっかり勉強するようとの激励がありました。

その後行われた懇親パーティーでは、宇都宮大学学生による日本舞踊の披露や留学生による母国の紹介があり、普段は会えない他大学の学生との交流を深める良い機会となりました。



▲先輩留学生の話を熱心に聞く参加者

## 「はじめての英会話1」

5月12日(木)～7月28日(木) 10回講座  
とちぎ国際交流センター

簡単な英語を使って会話やタイムリーなニュースを学ぶ「はじめての英会話1」を実施し、23名の参加がありました。講師はイギリス出身のマーク・マコーマック氏。話題が豊富な楽しい楽しい授業と好評でした。

## 「Tタイムミーティング」

7月2日(土) とちぎ国際交流センター

TIAトランスレーターバンク登録者の親睦を深めるためのTタイムミーティングを初めて開催し、23名が参加しました。はじめはペアになってお互いの情報を聞き出し紹介する他己紹介を行った後は、



▲談笑するTIAバンクの方々

席を自由に移動しながら情報交換・交流をしました。次回の開催にあたっては、「皆さんの経験談を聞いてみたい」、「頻繁に開催してほしい」等の意見が聞かれ、お茶の卓を囲んでの大変なごやかな会となりました。

## 「とちぎグローバルセミナー2016」

7月23日(土)～8月27日(土)

とちぎ国際交流センター

県民の国際理解を促進することを目的とした「とちぎグローバルセミナー2016」(TIA 及び JICA 筑波主催)は今年で8回目になります。今回は下記の14団体によるセミナーが実施され、子どもから大人まで計349人が参加しました。

〔団体名、タイトル、実施日、セミナー内容〕

- ①交流会「仲間」「夏・水・花」(7/23)…夏の生け花を体験、②ネパール支援有志の会サンガサンガイ・ハテマロ会「ネパールの子ども達の暮らし、そして震災を経て」(7/23)…映画鑑賞とネパール地震の被災報告、③うつのみやラチーノス「ブラジル『ゲーム』と『おやつ』」(7/23)…カポエイラ・サンバ体験とブラジルのクッキー・ケーキの試食、④とちぎYMCA「えいごでポー」(7/26)…アメリカの中高生と楽しいアクティビティ、⑤グローバル・グループ「飛びたて高校生！10代の留学の意義！」(7/30)…AFS 留学生の留学体験談、⑥栃木県産業労働観光部国際課「もっと知ろう！『異文化』について」(7/30)…中国の年中行事とアメリカのコメディ、⑦宇都宮高校英語部「英語ディベート世界への挑戦 Part3」(8/6)…宇高 VS 宇東高の英語ディベートとハーバード大学ディベートセミナーの報告、⑧宇都宮大学ハラル研究会学生の会『「ハラル」知って？15億人の



▲宇大のマレーシア留学生がイスラムの文化を紹介(8/6 セミナー)

食生活」(8/6)…イスラム教徒の生活紹介と伝統服の試着、⑨栃木県青年海外協力隊OB会「世界の果てまで行ってきた!!」(8/6)…元青年海外協力隊員がブルキナファソとバングラデシュを紹介、⑩シャプラニールとちぎ架け橋の会「世界をぐるっとイッテQ！」(8/20)…小学生等が各ブースでいろいろな国の文化を体験、⑪蘭竹坊「中国水墨画体験～手ぶらでお気軽に！」(8/20)…中国水墨画の体験、⑫NPO法人デックタイグループ「ちょっぴりタイを知ろう！」(8/27)…タイ焼きそばの試食と伝統舞踊、⑬アムネスティ・インターナショナル宇都宮グループ「世界の難民と日本の難民」(8/27)…難民問題の現状を紹介、⑭栃木台湾總會「台湾に行き台湾～」(8/27)…台湾の料理と観光穴場スポットを紹介

## 「栃木県フェア」

6月11日(土) イオンモール小山

県民の日に合わせた「栃木県フェア」が開催されました。栃木県の自慢の特産品が並ぶなか、TIAは栃木県の国際交流をテーマに、『とちぎのYOU達と話そう！&名刺を作ろう！』と題し、外国



▲フィリピン人と会話を楽しむ参加者

人住民の方と一緒に名刺作りをするブースを出展しました。協力してくれたのは小山市に住むフィリピン、ブラジル、スリランカ出身の4名で、それぞれの国の文化や習慣、民族衣装について紹介してくれました。参加者は外国人に教えてもらいながら、名前や住所、好きな食べ物などを外国語で記入し、自由にデザインしてオリジナルの名刺を作成しました。幅広い年代の方が参加してくださり、見たことのない独特な文字に驚く子どもたちや国旗に描かれている意味を真剣に聞いている方など、それぞれ交流を楽しんでいました。今回、協力してくれた外国人の方は「こうした交流は大きな意味がある。楽しかった」と話し、県内に住む日本人・外国人住民にとって有意義な時間を提供することができました。

## 「日本語ボランティア情報交換会」

7月29日(金) とちぎ国際交流センター

外国人住民のための日本語学習を支援するボランティアを対象とした情報交換会を『生活の中から教室活動のタネを見つけよう！～わくわく授業を目指して～』として実施し、県内各地から36名が参加しました。

講師は、日本語教材「できる日本語」の監修など多数の日本語教育関連の教材などを出版されている一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事の嶋田和子氏。

前半は、文型中心の少し不自然な例文について、どこが問題か参加者全員で具体的に考え、自然な日本語会話を常に考えながら授業を準備する大切さを学びました。また、場面ごとに適した会話表現を学ぶことで、文法項目も理解してもらうことは可能だとのお話がありました。後半は、街中のポスターやお菓子のパッケージの日本語表現を授業に取り入れるアイデア、初級の学習者も作れるクイズの紹介など明日から授業に生かせるヒントが盛りだくさんの内容でした。

参加者からは、「日常に授業のヒントはあると思った」、「ぜひ実践したい」と積極的な声が多数ありました。



▲エネルギーあふれる講義を行う講師の嶋田氏

# とちぎに暮らして… Living in Tochigi

Rony Vargas Villalobos さん

ロニー ヴァルガス ヴィジャロボス

コスタリカのサントドミンゴ・デ・エレディア出身。現在は宇都宮大学大学院で国際協力の政治的影響を研究。趣味は読書。好きなジャンルはファンタジー、歴史、文化、人類学と幅広い。



ですが、まだいろいろな所には行っていません。でも、コスタリカは雪が降らないので、こちらの冬をととても楽しんでます。また、人と交



▲コスタリカには雪がないので楽しい

流するのが好きなので、コスタリカを紹介するイベントなどには積極的に参加するようにしています。

ー日本の習慣でコスタリカとの違いはありますか。

コスタリカ大学の学生たちは、授業中にパソコンでメモを打ち込みながら講義を受けることもあります。日本はIT化が進んでいるのに、手書きでノートを取る学生ばかりなのに驚きました。また、コスタリカには、プレゼントや手紙を「送る」習慣がありません。住所という概念があまりないというか、「〇〇通りから北へ100m」とかそんな感じで家の場所を説明します。日本人はよく贈り物をするので全然違いますよね。

ー今後の目標を教えてください。

こちらの暮らしが自分に合っているので、人との関わりを持ちながらできる仕事を見つけられればと思っています。

ーはじめまして。日本に来たきっかけは何でしたか。

文部科学省の奨学金をもらえることになり、私の専門が学べる大学の一つに日本の宇都宮大学がありました。日本のことは5歳頃からテレビアニメなどを見て関心がありました。

ー日本に来る前はどのような活動をされていたか。

コスタリカ大学で、情報工学、日本語、地理を学びました。卒業後は同じ中米のホンジュラスで国連ボランティアとしてパソコン技術のサポートをする活動を半年間行いました。電気がないような所もありそれなりに苦労しました。その後は出身大学の事務局で働いたり、政治科学などを勉強していました。

ー栃木県に住んでみていかがですか。

緑が多く落ち着いたところだと思います。私は旅行が好きなの

JICA  
情報局

## 海のむこうの暮らしから ～ウズベキスタン サッカー隊員より～

湯澤勇人さん(宇都宮市出身)

【活動内容】 ウズベキスタンのサッカー学校で11～15歳の選手を対象に指導しています。好奇心旺盛で喜怒哀楽の豊かな子が多く、プロ選手を目指して練習に励んでおり、春に行われた地方大会では準優勝することが出来ました。



【栃木県の皆さんへメッセージ】 ウズベキスタンは中央アジアに位置し、ムスリムが大半を占める多民族国家で、思いやりをととても大切にする国です。

年間を通して降水量が少なく、青空がどこまでも高く突き抜け、その下に広がる砂漠地帯を世界遺産であるブルーのモスクが彩ります。様々な国や歴史によって育まれてきた独特の文化を持つウズベキスタンに一度訪れてみてはいかがでしょうか。

JICA ボランティア秋募集説明会・宇都宮

日時：10月8日(土) 14:00～16:00

場所：とちぎ国際交流センター 2F

内容：ボランティア経験者による体験談等。応募が確定している方も、ちょっと話を聞いてみたい方も大歓迎です！！

問合せはお気軽に、JICA 栃木デスクへ 028-621-0777

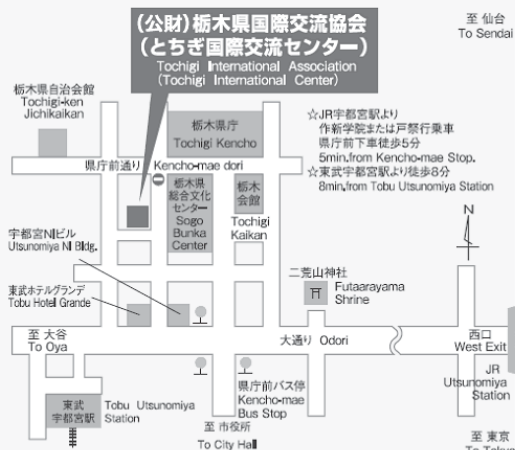
## 「宮っ子チャレンジウィーク」TIAで職場体験！

宇都宮市内の中学生の社会体験プログラム「宮っ子チャレンジ」で宇都宮市立古里中学校2年生の君島日菜子さんが6/21(火)～6/24(金)TIAで各種セミナーの運営の補助や県国際交流員などの外国人職員から国の紹介を聞いたり、外国人住民等に携帯メールで配信する原稿を作成するなどを行いました。



▲中国の交流員と君島さん(右)

## TIAご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会  
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内  
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)  
F A X 028-621-0951  
業 務 時 間 8:30～17:15  
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日